

本プロジェクトは **Python Flask** をバックエンドとして使用しています。
Requests ライブラリを用いて、第三者の **API** にリクエストを送信します。
現在、以下の 2 つの公開 **API** インターフェースを利用しています。

- 大気品質データ取得（Open-Meteo Air Quality API）
- 気象データ取得（Open-Meteo API）

Python コードには、東京、京都、大阪などの地理的位置が直接記述されています。フロントエンドで特定の都市を選択すると、バックエンドは該当する都市の地理位置情報に基づき、第三者の **API** を呼び出して大気品質と気象情報を取得します。これらのデータを評価し、散歩に適しているかどうかを判断し、スコアを提供します。



